

令和3年度 授業計画 (シラバス)

科目名	人体の構造と機能 I (細胞)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	1 学年	単位(時間)	1 (20/30)	開講時期	1 年前期
担当教員：堀 寿美枝					
<p>《科目目標》</p> <p>看護師が看護実践をするために必要な人体の構造と機能を理解する。特に細胞の機能と構造、諸臓器・組織の内部環境の調節、外部環境の防御について理解する。</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験、レポート</p>					
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版 ②生物のしくみ標準テキスト 第3版 新しい解剖整理 医学映像教育センター</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>課題学習</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	ガイダンス			講義
2	2	1. 人体を学ぶために基礎知識 1)人体とはどのようなものか 2)細胞・組織 3)構造と機能からみた人体			講義
3	2				講義
4	2	2. 内臓機能の調節 1)自律神経による調節 2)内分泌による調節 3)全身の内分泌腺と内分泌細胞(視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎) 4)ホルモン分泌の調整			講義
5	2				講義
6	2				講義
7	2				講義
8	2	3. 身体機能の防御と適応 1)皮膚の構造と機能 2)生体の防御機構 3)代謝と運動 4)体温とその調節			講義
9	2				講義
10	2				講義

令和3年度 授業計画 (シラバス)

科目名	人体の構造と機能 I (生殖)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	1 学年	単位(時間)	1 (10/30)	開講時期	1 年前期
担当教員：加藤 恵美					
<p>《科目目標》</p> <p>学習目的：看護師が看護実践をするために必要な生殖器の構造と機能について理解する</p> <p>学習目標：人間の生命の誕生に興味をもち、人の生殖機能についての知識を深め、子孫を残す仕組みについて理解する</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材（教科書）及び参考図書》</p> <p>①ナーシング・グラフィカ 解剖生理学 人体の構造と機能① メディカ出版</p> <p>②生体のしくみ 標準テキスト 第3版 新しい解剖生理 医学映像教育センター</p> <p>参考図書：系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能①；医学書院</p>					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	男性生殖器の構造と機能			講義
2	2	女性生殖器の構造			講義
3	2	女性生殖器の機能①			講義
4	2	女性生殖器の機能②・生命発生の過程①（生殖細胞）			講義
5	2	生命発生の過程②（受精と着床・生殖器の分化と発達）			講義

令和3年度 授業計画 (シラバス)

科目名	人体の構造と機能Ⅱ (循環器・血液)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	1 学年	単位 (時間)	1 (16/30)	開講時期	1 年前期
担当教員：木下 典子					
<p>《科目目標》</p> <p>学習目的：看護師が看護実践をするために必要な循環器・血液の構造と機能について理解する</p> <p>学習目標：1. 血液の組成およびそれぞれの働きを理解する</p> <p>2. 生体内の物質の流通路としての心臓・血管系の構造とその役割を理解する</p> <p>3. 一般社会、医療の中で生体情報として用いられる血圧についてその意味と調節機構を理解する</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材 (教科書) 及び参考図書》</p> <p>①ナーシング・グラフィカ 解剖生理学 人体の構造と機能① メディカ出版</p> <p>②生体のしくみ 標準テキスト 第3版 新しい解剖生理 医学映像教育センター</p>					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	血 液① (血液の組成と機能、造血、赤血球・白血球)			講義
2	2	血 液② (血小板、血液の凝固と線維素溶解、血漿タンパク)			講義
3	2	血 液③ (血液型)			講義
4	2	循環器① (心臓の構造と機能、体循環と肺循環、心音)			講義
5	2	循環器② (心臓の内腔と血液の流れ、心臓壁、冠状動脈)			講義
6	2	循環器③ (刺激伝導系、血管の構造)			講義
7	2	循環器④ (全身の動脈・静脈、脈拍、リンパ)			講義
8	2	循環器⑤ (心拍出量と血圧、血圧の調節機構)			講義

令和3年度 授業計画 (シラバス)

科目名	人体の構造と機能Ⅱ(呼吸)	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	1 学年	単位 (時間)	1 (14/30)	開講時期	1 年前期
担当教員：中島 加容子					
<p>《科目目標》</p> <p>学習目的：看護師が看護実践するために必要な呼吸器の構造と機能について理解する</p> <p>学習目標：換気・ガス交換・呼吸調節に関わる呼吸器の構造と機能を理解する</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①ナーシング・グラフィカ 解剖生理学 人体の構造と機能① メディカ出版</p> <p>②生体のしくみ 標準テキスト 第3版 新しい解剖生理 医学映像教育センター</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>事前学習の課題を行う。教科書を読みながら、プリントを整理してくる。</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>事前学習を行うことで分からないことを明確にして授業に臨み理解につなげる。</p> <p>復習を行い、次回に行う小テストに備える。</p>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	人間にとって息をする意味 呼吸器系の役割 呼吸器系の機能と構造(鼻と鼻腔、咽頭、喉頭)			講義
2	2	呼吸器系の機能と構造(気管と主気管、肺、)			講義
3	2	呼吸のプロセス(換気)			講義
4	2	肺機能(排気量分画・努力曲線・フローボリューム曲線)、 換気障害の理解			講義
5	2	ガス交換とガスの運搬、			講義
6	2	呼吸の調節、呼吸のさまざまな異常			講義
7	2	酸塩基平衡、酸塩基平衡の異常			講義

令和3年度 授業計画 (シラバス)

科目名	人体の構造と機能Ⅲ	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	1 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	1 年前期
担当教員：西田 朱由美					
<p>《科目目標》</p> <p>学習目的：看護師が看護実践をするために必要な人体の構造と機能について理解する。</p> <p>学習目標：摂取した食物がどのように消化吸收し、そして利用されるのか、消化器系の構造と機能を理解する。体液を調整する役割を果たす腎臓の機能、尿排泄の仕組みを理解する。</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①ナーシング・グラフィカ 解剖生理学 人体の構造と機能① メディカ出版</p> <p>②生体のしくみ 標準テキスト 新しい解剖生理 医学映像教育センター</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>課題学習を行う</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	消化管の構造			講義
2	2	口・咽頭・食道の構造と機能・嚥下のメカニズム			講義
3	2	胃の構造と機能			講義
4	2	小腸の構造と機能			講義
5	2	栄養素の消化と吸収			講義
6	2	食物が消化吸收されるまでの過程			講義
7	2	大腸の構造と機能・排便のメカニズム			講義
8	2	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能			講義
9	2				講義
10	2	腹膜			講義
11	2	腎臓・糸球体の構造と機能			講義
12	2	尿細管の構造と機能			講義
13	2	傍糸球体装置・クリアランスと糸球体濾過量・生理活性物質			講義
14	2	排尿路			講義
15	2	体液の調節・酸塩基平衡			講義

令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能IV	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	1 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	1 年前期
担当教員：河合 みゆき					
<p>《科目目標》</p> <p>学習目的：看護師が看護実践するために必要な脳神経の構造と機能について理解する。 また、生活の中で外部からの刺激を受け止める感覚系の役割について理解する。</p> <p>学習目標：生体の情報を感知し、発信しながら生体の環境適応を可能にし、恒常性を維持する 脳・神経系と感覚器の構造と機能を理解する。</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材（教科書）及び参考図書》</p> <p>①ナーシング・グラフィカ 解剖生理学 人体の構造と機能① メディカ出版 ②生体のしくみ 標準テキスト 第3版 新しい解剖生理 医学映像教育センター</p>					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	神経系の構造と機能 神経系の分類、神経系の構造、中枢神経と末梢神経、 神経細胞・支持細胞とは			講義
2	2	ニューロンでの興奮と伝達とシナプスでの興奮の伝達			講義
3	2	中枢神経の構造と機能 1 大脳の構造			講義
4	2	中枢神経の構造と機能 2 大脳の機能			講義
5	2	中枢神経の構造と機能 3 間脳の構造と機能 脳幹の構造と機能 小脳の構造と機能			講義
6	2	中枢神経の構造と機能 4 脊髄の構造と機能（脊髄反射）			講義
7	2	中枢神経系を守る組織と機能 髄膜、脳室と脳脊髄液、脳の血管と血液脳関門			講義
8	2	末梢神経系の構造と機能 1 脊髄神経の構造と機能			講義
9	2	末梢神経系の構造と機能 2 脳神経の構造と機能			講義
10	2	生体のリズム 睡眠と覚醒			講義
11	2	感覚器系の構造と機能 1. 眼の構造と機能			講義
12	2	2. 耳の構造と機能			講義
13	2	3. 味覚・嗅覚			講義
14	2	4. 痛覚			講義
15	2	5. 体性感覚と内臓感覚			講義

令和3年度 授業計画 (シラバス)

科目名	人体の構造と機能V	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
対象学年	1 学年	単位(時間)	1 ( 1 5 )	開講時期	1 年前期
担当教員：平野 信子					
<p>《科目目標》</p> <p>学習目的：看護師が看護実践をするために必要な人体の構造と機能について理解する</p> <p>学習目標：私たちの体は中枢神経の指令を受けて動き、移動し、様々な活動を行いながら日常生活を営んでいる。この体を支え、運動し、活動を行う骨格や筋肉の構造と機能を理解する。</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版</p> <p>②生物のしくみ標準テキスト 第3版 新しい解剖生理 医学映像教育センター</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>毎回小テストを実施します。授業の復習をして臨んでください</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	体を動かす仕組み①：骨の構造と種類、働き			講義
2	2	体を動かす仕組み②：関節の構造と種類			講義
3	2	体を動かす仕組み③：筋の構造と種類、働き			講義
4	2	体を動かす仕組み④：筋収縮のエネルギー代謝			講義
5	2	「姿勢を保つ」骨・関節と筋肉			講義
6	2	「腕を動かす」骨・関節と筋肉			講義
7	2	「足を動かす」骨・関節と筋肉			講義
8	1	「顔」の骨・関節と筋肉			講義